



いい関係だといいます。「以前住んでいたところで、干渉されすぎて疲れたことがあって…。自分も妻も、そんなに密な近所付き合いを望む方ではないので、今くらいがちょうどいいです」と健太郎さん。適度な距離感を保ちながら、いい関係を続けているようです。

子育てがしやすいまち

次男・月陽さんも成長し、コロナ禍も落ち着いてきたことで、外出する機会が増えてきたそう。「諏訪公園に行くことが多いですね。遊具が多く、一日中遊ぶ

ことができる一颯お気に入りの場所です。そのままショッピングモールへ行くのが定番コースです。ベビーカーを押しながら買い物ができて、食事もゆっくりできる。子育て世代にとってはありがたいですね」と話します。最近では沿岸道路を使って、隣のみやま市や佐賀方面にも足を延ばすようになったとのこと。もともとドライブで遠出することも好きだったお2人。「観光目的なら、阿蘇や天草、由布院などへ、ショッピングを楽しむなら、福岡市や熊本市へと、大牟田は日帰りで行くところへ行くことができます。



移住者インタビュー 1

浅田 健太郎さん 恵さん
一颯さん 月陽さん



取材地：ともだちや絵本美術館



生まれ育ったまちで充実した毎日を

子育て真っ最中の浅田さんご夫婦は、マイホームを購入するタイミングで、生まれ育った大牟田へ戻ってきた U ターン組。勤務先の関係でいろいろなまちで生活するなか、転勤願いを出して戻ってきたご夫婦に、大牟田への想いを聞きました。



大牟田の良さを再認識

ともに大牟田で育ち、職場が同じだったことが縁で結婚された健太郎さんと恵さん。転勤により熊本や八代などを転々とし、長男・一颯さんが小学校へ入学するタイミングで大牟田へ戻ってきました。「長男を転校させたくなかったので、転勤願いを出しました。大牟田に戻れると決まったときは、めちゃめちゃうれしかったです」と健太郎さん。

もともと大牟田での生活に不満はありませんでしたが、ほかの町に住んだことでより大牟田の良さを再認識できたといいます。「人が多すぎて疲れることもなければ、田舎すぎて不便さを感じることもない。大牟田は、住むのにちょうどいいまちです。ショッピングモールが2つあるのも魅力ですね」と家を建てることにまったく迷いはなかったそうです。お2人のご両親も大牟田在住で、子育てでも助かっていると恵さん。「長男が小さい頃は、日中母と子になることも多く、孤独感に襲われることもありました。母が近くにいると、いろいろ助けてもらい本当にありがたいですね」と笑顔で話します。

ちょうどいい近所付き合い

大牟田に戻ってきてから1年半あまり。ご近所との付き合いも適度で、ちょうど

きます。立地に恵まれているなあとつくづく思います。これから家族でいろんなところへ出掛けたいです」

ずっとこの地で

今春から一颯さんが小学生となり、周りに水泳やダンスなど、子どもに習い事をさせている家庭が多いことから、いずれは我が家も…と考えているといいます。「自分がずっとバスケットをやっていたので、一颯にはそのうちバスケットを習わせたいです。家族で試合の応援に行ったりするのも楽しそうです」と健太郎さん。やっと大牟田へ帰ってきて、念願のマイホームも建てることで、充実



私のおおむたオススメすぽっと♪

大牟田市動物園



「動物福祉を伝える動物園」というコンセプトのもとに、飼育動物が幸せな暮らしを送ることができるよう、さまざまな取り組みを進めています。ライオンが木に登ったり、レッサーパンダがボルタリングしたり…。飼育員さんらの分かりやすいガイドも好評です。

大牟田市動物園のホームページはコチラから→

